

2023年

新年のあいさつ

日野町長 塔田 淳一



新年あけましておめでとうございます。謹んで新春のお祝いを申し上げますとともに、町民の皆さまには健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、世界に大きな衝撃を与えたロシアのウクライナ侵攻、記録的な円安の中で食料品、原油価格、電力料金等の物価高騰、終息が見えない新型コロナウイルス感染症が、日常の生活に暗い影を落としました。

選手団や日本代表は、日本中を熱くする大活躍を繰り広げてくれました。特に「サムライブルー」と呼ばれたサッカー日本代表は、「傑出していたチーム」として、高い評価と称賛を得ました。暗い世相、不安な世相の中にあつて、明るい話題であり、希望を与えてくれる活躍でした。

そして昨年は、2期目の町政を担わせていただいたスタートの年でありました。3月には、永く親しまれ、多くの方においでいただいた「オシドリ観察小屋ファイナーレ式」を行い、その後新たな観察小屋を建設し、11月1日にオープンしました。このオシドリ観察小屋建設にあつては、多くの方からのご寄付を頂きました。心より感謝し、お礼申し上げます。

オープン後もたくさんのお客様が来られ、オシドリの観察とともに町の魅力を満喫されているようです。これらは町にとっても大きな観光資源であります。「地域の誇りは、自慢できるものを持つことで生まれる」の実践例であり、町の魅力アップを推進していきたいと考えています。

4月には、令和5年4月開校を目指した「日野町立日野学園」の建設に着手しました。「ふるさとを愛し、心豊かにたくましく羽ばたく日野の子」を目標に、義務教育一貫校として児童生徒が笑顔で、一人一人が大切にされ、関わり合いながら学ぶことを目指していきたいです。

また、閉校となる黒坂小学校、日野中学校の活用も進めていかなければなりません。跡地利用検討委員会の報告を基礎ベースとして、優先順位をつけて取り組んでいきます。特に学校がなくなる黒坂地域は、跡地も活用し、官民一体となり持続可能な地域づくりについて検討を進めます。

昨年は、根雨駅・黒坂駅開業100周年のメモリアルな年でもありました。7月、11月それぞれにセレモニー、イベント等を地域の方々の参画もいたたいで開催し、子どもから大人まで根雨駅、黒坂駅、そして伯備線への思いを強くしていただけだと思います。昨年の「日野町成人式二十歳の集い」においても、駅はふるさと、友人を思い起こす大切なスポット、町を大切に思ってくださいとお伝えしたところです。

2022年まちのできごと

▼昨年のもちの動きを「広報ひの」の記事から振り返ります

- 【1月】** 1日 = 金持神社初もうで。3日 = 日野町成人式。
- 【2月】** 6日 = 日野町長選挙および日野町議会議員補欠選挙。
- 【3月】** 4日 = 中海テレビ放送がオシドリ小屋再建のため寄付。10日 = ふるさと大賞2021、地域貢献賞に白つつじの会、スポーツ功労賞に山本乙葉さん(野田)が受賞。29日 = オシドリ観察小屋再建に向けた記念セレモニー。
- 【4月】** 3日 = 日野町共生の里事業菅福地区井出さらい。13日 = 町と米子工業高等専門学校が包括連携協定を締結。29日 = 宝仏山登山道開き。春の叙勲、佐々木秀明さん(舟場)に旭日双光章。まめなか屋2号店がお菓子の壽城内にオープン。
- 【5月】** 9日 = 鈴原糯の種子生産水田で田植え。14日 = 黒坂城ウォーク。16日 = 根雨地区雨水排水路現地説明会。26日 = ひのっこ保育所園児がアユを放流。
- 【6月】** 10日 = ホタル観察会&ナイトウォーク。ひのっこ保育所と津地自治会がサツマイモ植え交流。12日 = 鶴の池マラソン大会。16日 = 日野病院が自治体立優良病院表彰を受賞。19日 = サックスボックスコンサート。
- 【7月】** 23日 = 奥日野★星空プロジェクト星空観望会。28日 = ひのっ
- こ保育所でアユつかみ取り。31日 = 根雨駅・黒坂駅開業100周年記念イベント。
- 【8月】** 14日 = 黒坂フェスタ「みんな集まれ!黒坂小学校最後の夏だ!」。15日 = 日野町成人式「~二十歳の集い~」。
- 【9月】** 16日 = 敬老記念品の贈呈。17日 = 鶴の池公園キャンプ場で星空朗読会。
- 【10月】** 1日 = ささえ愛コンビニ・プロジェクト開始。2日 = 全町一斉防災訓練。日野町民ミュージカルファイナル公演。8日 = 菅福小さな花火大会。日野町駅伝競走大会。16日 = 根雨駅黒坂駅開業100周年記念式典。22日 = 鳥取県植樹祭。22日~23日 = 生きいき”ひの”ふれあいまつり、令和のふいご祭。26日 = オシドリ観察小屋竣工式。27日 = 小学生が青パイヤ収穫体験。
- 【11月】** 5日 = 海鮮・山鮮秋のまげなもん祭。9日 = 日野町表彰式、山根美奈子さん(野田)が受賞。10日 = 黒坂駅開業100周年イベント&黒坂フェスタ。13日 = なんぶ・ひのサイクリングツアー。26日 = 黒坂小学校で人文字空撮。
- 【12月】** 10日 = 義務教育学校「日野学園」フォーラム。15日 = セルプひのが日野中学校3年生に絵馬を寄贈。

10月には、第20回町民ミュージカル「結び目」ファイナル公演が上演され、惜しまれながら幕を閉じました。20年続けてきた町民ミュージカル、持続していくことの困難さを考えさせられました。

町の「第2次きらり日野町創生戦略」まちが持続していくために「は、令和5年度が4年目の取り組みとなります。

町の人口は、令和2年の国勢調査では2,907人であり、戦略に掲げた推計人口2,849人を上回り、推計よりも緩やかな減少となつていきます。健康づくり活動の展開、医療・福祉制度の充実、移住定住推進などの各種施策の成果も感じているところです。

ただし、もう少し詳細に見ると、20歳から60歳の世代の人口流出が続いていま

す。若い世代が住み続けることができる、また若い世代の関係人口を確保し将来的な移住につなげていくなどの施策を進めるなど、粘り強く取り組んでいきます。

「第2次きらり日野町創生戦略」では、7つの分野を設定しています。人と人とのつながりを大切に、安全で安心して暮らせるまち、住んで良かったと思えるまち、子どもたちが誇りを持って未来に引き継げるまちづくりを目指し、集落支援の分野では、菅福地域に初めて設置した小さな拠点を全町に広げていくこと、子育て分野では医療費の無償化など経済的支援を継続するとともに、環境面として小さなお子さんの遊ぶ場所の整備を進めていくことなど、各種事業や施策に取り組みでまいります。

未来に向かって全力で町政運営に取り組んでまいりますので、ご理解と変わらぬご支援ご協力をお願いいたします。

町民の皆さまのご健勝とご多幸を祈念し、この1年が未来に続くすばらしい年となりますよう心から願ひまして、新年のごあいさつとさせていただきます。